



“1万人の声” 企画 趣意書

平成 21 年 8 月 吉日

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、御存じのようにいよいよ 9 月に国際フェスティバルが幕を開けようとしております。第 1 回に続きまして、海外から、日本からたくさんの応募をいただきまして、厳正な審査のもと、今現在海外からは、17 カ国の出演者が確定致しまして、バンクーバーでの準備に追われております。日本国内では、全国 5 か所でコンサートが開催され、国内の選手の士気もだんだんと高まってまいりました。また、マスコミの方にも各地で取り上げられ、それぞれの県の知事や市長の表敬訪問も順調に進んでおります。

しかしながら、このような国際大会には、どうしても多額の資金が必要になってきます。すでに募金を頂いたり、企業様に応援頂き本当にありがたいお支援を沢山いただきますが、まだまだ足りていないのが、現状です。

あと、2 か月 この 2 カ月で、約 1, 0 0 0 万が必要です。

そこで、皆様に御願いです。

IPD (日本障害者ピアノ指導者研究会) は以前から、1, 0 0 0 円募金というのを行っております。今 1 0, 0 0 0 人の方が、IPD の趣旨に賛同していただきまして、仮に 1, 0 0 0 円募金をしていただきますと、1, 0 0 0 万の寄付が、集まり開催実現が出来ます。

障害を持つ方の今後の自立支援や、可能性をもっと引き出し、世界に発信していくためには、必ず必要な今大会です。成功実現のために他資料ご覧頂き是非あなたのご支援お待ちしております。

NPO 法人日本障害者ピアノ指導者研究会

会長 迫田 時雄

第 2 回バンクーバー国際障害者ピアノフェスティバル

実行委員長 児島真里子